

研究成果情報		園 芸	1 5	花 き・花 木	栽 培
新技術・情報名	スカビオーサの電照・加温による10～6月出し栽培法			分 類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

スカビオーサの10～6月出し栽培における播種期、電照及び栽培温度の影響を明らかにし、作型を確立した。

(1) スカビオーサは4月に播種すると主茎が開花するまで約6ヵ月間かかる。

特に、生育初期が夏季の高温を経過する6～7月播種では、生育抑制により開花が1～2ヵ月程度遅延する。

(2) 10月から翌年6月までの期間に、主茎と側枝を1株当たり10本以上切り花するためには、「ファマ」は4月上旬～6月上旬、また「コンプリメントブルー」は4月上旬～5月上旬に播種するとよい。

(3) 施設内は無加温でも栽培が可能であるが、抽台・開花が遅れ、花卉が傷む等品質が低下するので、栽培温度は夜間最低9℃以上がよい。

(4) 定植後の深夜4時間の電照は抽台・開花日の促進はしないが、開花時の切花長と切花重量を増加させ、品質向上に有効である。

2) 技術・情報の適用効果

電照・加温による1～3月出し栽培は切花品質が優れ、価格も高いので、草花栽培の経営改善が図れる。

3) 適用範囲

県内全域の草花栽培地域

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

(1) 種子の入手が遅れてやむを得ず7～8月の高温期に播種する場合は、発芽率が低下するので、15℃の冷蔵庫で1週間程度催芽した後、播種するとよい。

(2) 年間を通してハダニの発生が多く、また、2～3月には灰色かび病が茎葉や花卉を侵すので、病虫害防除に留意する。

2. 具体的データ

表1 スカビオーサの播種日と主茎の開花、開花時の諸形質及び側枝の月別開花本数（平成2年）

品種	播種日		平均切花長		切花重量	側枝の開花本数（1株当たり）						
	月・日	月・日	cm	g		～1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
ファマ	4.10	10.6	67.1	33.4	0.4	0.9	2.1	2.6	4.7	2.6	13.3	
	5.10	12.3	66.1	46.4	0.3	0.4	1.9	1.7	3.2	2.1	9.6	
	6.10	2.9	48.2	43.0	0.4	0.5	2.1	1.5	2.0	3.0	9.5	
	7.10	3.1	40.4	37.6	-	0.1	1.3	2.9	1.5	1.9	7.7	
	8.10	3.22	46.6	47.4	-	-	0.2	3.1	1.8	2.4	7.5	
	9.10	4.11	58.7	56.5	-	-	-	1.5	2.2	2.1	5.8	
コンプリメ ントブルー	4.10	10.28	65.4	42.4	0.1	0.8	3.1	1.7	3.8	1.7	11.2	
	5.10	1.3	67.2	70.5	0.1	0.6	2.6	2.4	4.3	0.8	10.8	
	6.10	3.4	34.9	28.6	-	-	1.1	1.5	1.9	1.7	6.2	
	7.10	3.24	50.0	49.6	-	-	0.2	1.8	1.8	1.1	4.9	
	8.10	4.10	56.0	52.0	-	-	-	2.6	3.6	1.6	7.8	
	9.10	4.15	59.3	57.7	-	-	-	2.3	1.2	1.6	5.1	

注) 硬質フィルム温室における無加温栽培

表2 電照及び栽培温度とスカビオーサの抽台・開花及び開花時の諸形質（平成3年）

品種	播種日	電照	最低夜温	平均抽台日		平均切花長	切花重量	節数	花梗数	花数		
				月・日	月・日							
ファマ	5.1	無処理	無加温	11.15	12.24	69.8	32.3	2.1	3.6	7.2		
				9℃	11.13	12.20	62.4	33.5	2.3	4.5	8.1	
				9℃	11.14	12.23	84.1	40.7	2.9	3.5	5.1	
		処理	9℃	11.16	12.22	102.7	47.6	2.9	3.7	5.6		
			7.1	無処理	無加温	11.30	1.20	61.9	30.5	2.1	3.4	6.2
						9℃	12.1	1.16	55.5	23.1	2.2	3.2
	処理	無加温	11.28	1.17	91.5	32.6	2.5	3.2	5.2			
		9℃	12.1	1.15	88.8	43.2	2.5	3.1	5.7			
		9.1	無処理	無加温	2.2	3.20	59.5	38.3	1.3	2.5	6.5	
	9℃				2.4	3.16	59.1	37.4	1.7	3.0	7.2	
	9℃				2.4	3.25	93.8	65.4	2.3	4.6	8.4	
	処理		9℃	2.2	3.20	95.2	53.1	2.3	3.8	6.5		
コンプリメ ントブルー			5.1	無処理	無加温	12.12	1.20	65.0	36.5	2.3	4.3	7.1
					9℃	12.8	1.14	60.9	23.0	2.2	3.4	5.2
	9℃	12.10			1.18	86.2	44.0	2.6	3.5	4.7		
	処理	9℃	12.6	1.10	87.1	42.7	3.0	4.3	6.1			
		7.1	無処理	無加温	12.23	2.4	59.2	40.8	2.3	4.8	7.8	
					9℃	12.20	1.30	60.3	32.8	2.5	3.7	4.5
処理	無加温	12.22	2.4	81.7	46.2	2.7	5.3	6.8				
	9℃	12.24	2.3	87.8	36.0	2.7	3.8	6.7				
	9.1	無処理	無加温	2.5	3.24	67.9	47.6	1.6	3.2	7.3		
9℃				2.3	3.19	67.7	38.1	1.7	3.2	6.5		
9℃				2.4	3.28	89.4	63.7	2.3	4.0	7.1		
			9℃	2.5	3.22	95.5	55.7	2.1	4.0	8.2		

注) 電照は定植後から深夜4時間の暗期中断。

3. その他特記事項

担当部科室名 : 園芸研究所 野菜花き部 花き花木研究室
 研究担当者名 : 谷川孝弘, 小林泰生, 坂井康弘
 研究課題名 : 宿根花きの開花調節
 期間 : 平成2年～平成3年
 予算区分 : 経常
 既発表論文・資料名等 : 福岡県農業総合試験場園芸研究所
 花き花木試験成績書・平成2～3年度
 取りまとめ責任者名 : 谷川孝弘